

《図書紹介》

ロジャー・L・ガイガー著
原圭寛・間篠剛留・五島敦子・小野里拓・
藤井翔太・原田早春訳

『アメリカ高等教育史：その創立から第二次 世界大戦までの学術と文化』

(東信堂, 2023年, 744頁)

坂本 辰朗 (創価大学)

かつて、日本を代表する科学史家として知られていた中山茂氏が、ある学会のシンポジウムで、「アメリカで、科学史、大学史の双方の分野で、もっとも信頼されているのがロジャー・ガイガーという人物」という紹介をされたことがあった。かねてより、大学史の研究者としてのガイガー氏の業績に注目していた筆者は、中山氏の話に、なるほどと頷くと同時に、日本でももっと、ガイガー氏のものを読まれるようになればと、改めて思ったものである。

その後、ガイガー氏と知り合い、話をしているうちに、彼の博士論文さらにはジェネラル・イクザミネーションが話題になった。筆者がガイガー氏に、いちばん苦労した分野は何だったかを訊いたところ、ヨーロッパ中世史だったという答えが返ってきたと記憶する。これを聞いて筆者は再び、なるほどと思ったのである。筆者も、アメリカ合衆国大学史を研究の対象とする一人であるが、ものを読んだり書いたりしているさなか、11世紀終わりからルネサンスに至るヨーロッパ史について、何かとてつもない思い違いをしていることに気づかないではないか、というおそれを抱くことが間々あるからである。「最初期のアメリカの諸カレッジは、ヨーロッパ宗教改革の学校であった」とは、大学史の泰斗であったユルゲン・ヘルプスト教授のことばであるが (Herbst, 1982, 1), 17世紀のアメリカにおけるカレッジの興隆に止まらず、アメリカ合衆国大学史の理解は、ヨーロッパ中世史への精確な理解なしには不可能であると筆者は考えている。

ガイガー氏が1972年にミシガン大学に提出した博士論文は、ヨーロッパにおける社会学の成立を扱ったものであり、時代的には、19世紀の最後の約30年間から世紀転換期までが対象である (Geiger, 1972)。冒頭で言及した中山茂氏は、クーンのパラダイム概念の日本への紹介者

でもあったが、ガイガー氏の博士論文もまた明らかに、パラダイム概念がキーワード——すなわち、19世紀末のフランス史上、社会学として成立しえた三つの知的伝統のうち、なぜ、デュルケームのそれだけが、パラダイムとしての地位を獲得し、大学の中に取り込まれるようになったのか——として書かれている。ガイガー氏には、歴史を数世紀に亘る比較的長いスパンで捉えた上で、そこにおける革命的变化がなぜおこったのかへの関心が強いことが分かる (恐らくは、彼が学生生活を送った、1960年代末から1970年代初頭という時代背景も関係しているであろう)。この学位論文から、現在のガイガー氏を予想することは、恐らく、誰人もできなかったであろう。

ガイガー氏が学位を取得した1970年代初頭は、大学教員を目指す者にとっては最悪の時代であった。ガイガー氏は後に、「全部合わせて私は、イェールで13年間、ソフスマネー(学外からの競争的資金のこと——引用者注)に依存する生活をした。これは、歴史家にとってはひとつのレコードではないか」と述べている (Geiger, 2011, 100)。日本風に言えば、オーバー・ドクター生活13年というわけである。ガイガー氏をイェールで拾い上げてくれたのは、著名な比較・国際高等教育学の研究者、バートン・クラーク教授であったが、このおかげでガイガー氏は、高等教育研究に出会うことになった。かつてのドイツの大学制度になぞらえれば、ガイガー氏は、博士論文ではヨーロッパ思想史をやり、ハビリタチオン論文で比較高等教育をやったということになる。この期間に、ガイガー氏の知識三部作^{トリロジー}の最初の作品、『知識の増進のために：アメリカ研究大学の発展、1900-1940年』(Geiger, 1986)が完成する。この作品でガイガー氏は、大学の研究機能に、特に、その研究機能の発展に、大学の外の機能がどのように関わっていったのか、という視点をも導入して、20世紀初頭から現在に至るまでの高等教育史を分析している。

ガイガー氏の著作リストを見ていくと、書評あるいはレビュー論文の多さに気づく。この仕事の延長とも言えるのが、*History of Higher Education Annual*の編集主幹を引き受けたこと (1992年)であろう。この種の仕事は、しばしば、労多くして功少なしということになりかねない。だが長い眼で見れば、ガイガー氏はこの仕事によって、自分の専門分野だけでなく、アメリカ合衆国高等教育史全般について、筋金入りの目利きになったことは疑いなかろう。

さて、以上のような経緯によって、「遂に！」出版さ

れた——このことばは、同じくアメリカ合衆国高等教育通史の著者であるジョン・テリン教授の、ガイガー通史への書評の書き出しである (Thelin, November 10, 2014) ——本書は、以下のような構成になっている。

序文

プロローグ：大学，文化，キャリア，そして知識

第1章 アメリカのカレッジにおける最初の1世紀，
1636-1740

第2章 植民地カレッジ，1740-1780

第3章 共和国的大学

第4章 カレッジの低調

第5章 カレッジ・ルネサンス，1820-1840

第6章 地域間の相違と科学の進展，1840-1860

第7章 ランドグラント・カレッジと実践的技芸^{プラクティカル・アーツ}

第8章 アメリカ的大学の形成

第9章 カレッジエイト・レボリューション

第10章 マス高等教育，1915-1940

第11章 標準的なアメリカの大学

第12章 文化，キャリア，そして知識

筆者はかつて、1990年代以降の、アメリカ合衆国高等教育史のヒストリオグラフィと通史テキストの特徴を論じた論文の中で、ガイガー氏の「アメリカ合衆国高等教育史の10の世代」論に言及したことがある (坂本, 2006)。通説の書き換えを総合化し、新たなヒストリオグラフィの構築のための努力の一環として、これまでとは異なったアメリカ合衆国高等教育史の時代区分を試みたわけである。詳細は、本書の巻末での訳者代表の原圭寛氏の解題を参照していただきたいが、本目次との対応関係として示せば、「世代1 1636年-1740年代＝宗教改革が開始された時代」(本書第1章)、「世代2 1745年-1775年＝植民地カレッジの時代」(本書第2章)と続き、「世代6 1850年代-1890年＝新たな躍進の時代」「世代7 1890年-第一次世界大戦＝成長と標準化の時代」が、本書の第7章、第8章、第9章と細分化されている。この結果、たとえば、アンテベラム、ポストベラムという南北戦争を軸にした従来の高等教育史時代区分は適切ではないとして退けているなど、個別の史実の解釈にとどまらない、ヒストリオグラフィの検討がおこなわれ、それらは本書執筆で縦横に生かされている。

本訳書の最大の特徴は、比較的若い研究者たちが、翻訳のための訳読会を積み重ねて、お互いの訳稿を十分に検討していることである。本訳書冒頭に掲げられた8頁

にも亘る「用語解説」は、このような訳読会の成果であり、それはまた、新たなアメリカ合衆国高等教育通史にふさわしい新たな訳語を創出しようとする訳者たちの努力が結実したものでもある。なお、ガイガー氏は本書の続編として、第二次世界大戦以降、現在までの高等教育史を既に公刊しているが (Geiger, 2019)、本訳書のグループは、この続編の翻訳にも着手し、その原稿もすでに完結に近づいていると筆者は側聞している。

本『大学論集』の読者は多領域に亘っているわけであるが、どなたも、「あの本、誰かが訳せばいいのに (しかし、自分でやるには荷が勝ちすぎる!)」と思うような書物を——その学術領域の基幹重要文献であると同時に、他領域の多くの学術研究者をも確実に裨益する作品を——数冊はお持ちであろう。本書は疑いもなく、そのような一冊である。

【参考文献】

- 坂本辰朗 (2006) 「アメリカにおける高等教育史研究の動向：通史編纂の問題」 田中克佳編 『「教育」を問う教育学』 慶應義塾大学出版会，247-270頁。
- Geiger, R. L. (1972). "The Development of French Sociology, 1871-1905," PhD Diss, University of Michigan.
- Geiger, R. L. (1986). *To Advance Knowledge: The Growth of American Research Universities, 1900-1940*, Oxford University Press.
- Geiger, R. L. (2011). "Becoming a Historian of Higher Education," W. J. Urban, *Leaders in the Historical Study of American Education*, Sense Publishers, 95-106.
- Geiger, R. L. (2019). *American Higher Education Since World War II: A History*, Princeton University Press.
- Herbst, J. (1982). *From Crisis to Crisis: American College Government, 1636-1819*. Harvard University Press.
- Thelin, J. R. (November 10, 2014). "Missing Chapters," *Chronicle of Higher Education*.